

私たちは自然を愛し人を愛し街を愛します

JA宮崎中央

めぐみ

Nokyo Dayori JA Megumi

3

2020 March

No.277



青年部 役職員対話集会

「県域 JA」構想 意見交換会のご報告

令和2年度人事異動

頑張る人には福が来る
がらぼり屋
NO.25
高岡文旦生産者 矢野勇さん

「ひなまつり」は

アレンジフラワーで
華やかにお祝い♪

＊
花ごよみ
＊
（弥生）

・目次

- 4 人事異動
- 7 青年部・役職員対話集会
- 8 ほっとトピックス
- 12 「県域JA」構想 意見交換報告
- 16 畜産だより
- 17 頭の体操



デザイン・製作 ● 吉野花壇（代表）吉野恒男



花材（左から）
・ユリ
・アカメヤナギ
・トルコギキョウ



ワンポイントアドバイス

今回はまず片側に花を寄せて挿し、ひな人形のピックは途中で挿してきちんと見えるようにしました。人形の後ろには屏風をイメージしてユーカリを追加しました。（花材の葉を使ってもいいかもしれませんね!）

頑張る人には福が来る
がらびり屋
NO. 25



矢野 勇さん 加代子さん

高岡町中山地区、きんかんや日向夏の樹木が並ぶ中でも一際大きく目立つ果実「高岡文旦」。取材時は白い袋が掛かった状態で収穫を目前にしていました。かけ袋を取ると中には大きく綺麗な黄色い高岡文旦がありました。

この立派な高岡文旦を栽培しているのは矢野勇さん(77)と加代子さん(75)ご夫婦。JA宮崎中央高岡文旦研究会に所属し、その他にも金柑や露地日向夏を栽培しているがらびり屋さんです。

高岡文旦の栽培を始めたのは10年前、初めての出荷はそれから約4年たってからでした。きっかけは高岡文旦の花粉を取って日向夏に受粉させるためだそ



うです。加代子さんは「そうすることで日向夏の白皮の部分が一段と柔らかくなっていると思いますよ。」と話してくれました。また栽培で大変なことは1つずつ袋を掛けていく作業で、この作業によって枝や虫など実について傷がつくのを防ぎます。撮影の前日には強い風が吹き、

文旦の大きな実は落ちやすいので心配しましたと安堵の様子でした。

勇さんは今年の出来について「今年は暖かい日が続いたので玉も大きく袋も破れるほどでした。」と話します。高岡文旦はもちろんそのまま食べるのも美味しいですが、ピールやソフトクリームなどの加工品としても消費者のみなさんにお届けしており、イベント等での販売も行っています。

最近では娘さんの手伝いもありとても助かっているとのこと。今後も夫婦いっしょに元気に美味しいものをつくっていききたいと笑顔で話しました。

人事異動

令和2年度

新部署

職員名

旧部署

監事・監査室

室長 黒木 保行 監事室 次長
兼 事業部長会メンバー

監事室 課長 日土 貴弘 総合企画室 課長
兼 事業開発課

課長補佐 押川雄一郎 同 係長
兼 監事室担当

監査課 課長 押川 伸彦 同 課長補佐
兼 監事室担当

監査課 監査係 那須 葵 貯金を為替課 JBA係
兼 監事室係

経営支援室

室長 日高 利乾 金融部 部長
兼 地域農家経営支援センター長

兼 固定化債権流動化対策統括班班長
兼 事業部長会メンバー

経営支援課 櫻田 智也 国富支店 融資係
兼 固定化債権流動化対策支援係

経営支援係 国富支店 融資係
兼 固定化債権流動化対策支援係

国富支店駐在

リスク管理室

増田 拓馬 田野支店 共済課
兼 リスク管理係 共済LA係

総合企画室

次長 黒田 健哉 同室 次長
兼 事業開発課

企画管理課 課長代理 大岐 孝志 総務部付
兼 企画開発担当 中央会出向

事業開発課

池田 幸平 同室 企画管理課
兼 事業開発係

総務部

総務課 庶務係 大和田由里奈 国富支店 管理庶務広報係

出向

(株)ジェイエイ福祉 出向(専務取締役)
田中 久男 経営支援室 室長

(株)ジェイエイファーム 出向(常務)
小森 忠博 営農部 営農企画・農産担当次長

農協講習所長期生 佐々木裕也 経済課 生産資材係 営農担当

金融部

部長 兼 固定化債権流動化対策班班長(宮崎)
兼 事業部長会メンバー

兼 固定化債権流動化対策班副班長
兼 金融企画課 課長
兼 内部統制責任者

金融担当次長 清水 和昭 金融部 金融担当次長

兼 固定化債権流動化対策班副班長
兼 金融企画課 課長
兼 内部統制責任者

金融企画課 児玉 晶 リスク管理室 リスク管理課 係長
兼 リスク管理担当

貯金を為替課 課長補佐 長友 和枝 同 係長
兼 貯金を為替担当

貯金を為替課 係長 大坪真由美 佐土原支店 貯金を為替課 係長
兼 貯金を為替担当

資金運用課 課長 戸敷 貴之 同 係長

融資課 係長 小林 和正 宮崎支店 共済LA係

共済部

共済担当次長 緒方 孝一 同部 共済担当
兼 共済業務課 課長
兼 内部統制責任者

共済業務課 係長 高橋 加奈 国富支店 共済課 共済LA係

普及総合課 課長補佐 三須 貞範 佐土原支店 共済課 課長補佐
兼 トレーナー
兼 法人対策係

自動車共済課 永野 利明 南宮崎支店 共済課 共済LA係
兼 事故受付相談係

畜産部

生産指導課 課長補佐 松崎 豪 同 係長
兼 畜種・改良担当
兼 畜産資材・酪農指導担当

生産指導課 (佐土原) 小松 正和 宮崎支店 共済課 共済LA係
兼 家畜市場係

生産指導課 (国富) 菊永 章太 同部 生産指導課 生産指導係(宮崎)

生産指導課 (宮崎) 津房 大介 南宮崎支店 係長
(係長待選)

生産指導課 事務係 井崎 妃乃 北支店 貯金を為替係

肥育肉畜販売課 黒脇 亨平 同部 肥育肉畜販売課
兼 直営センター担当

肥育肉畜販売課 杉澤 良 同部 生産指導課 生産指導係(佐土原)
兼 宮崎畜産団地係

営農部

営農企画・農産担当次長 児玉 昭人 同部 営農企画課 課長
兼 農業法人支援センター準備室室長
兼 内部統制責任者

営農企画課 課長 大字 克也 同部 営農企画課
兼 企画開発担当
兼 農業生産法人対策担当

営農企画課 兼 事業係 兼 農業法人係 藤原 直樹 宮崎支店 共済課 共済LA係

園芸指導課 事務係 濱武 柚紀 国富支店 共済課 係長
兼 生産資材係

販売部

部長 兼 事業部長会メンバー 吉田 博文 同部 販売担当次長
兼 特産販売課長

次長 兼 特産販売課長 兼 内部統制責任者 平原 茂樹 同部 営業販売課 課長
(次長待選)

総合選果場 事務係 本田 祐未 同部 営業販売係 兼 生産資材係

営業販売課 課長 野崎 司 同部 営業販売 課長代理

営業販売課 課長補佐 黒木 真吾 同 係長
兼 営業販売担当

営業販売課 坂元 成徳 同部 販売課 販売係
兼 営業販売係

食品加工課 課長補佐 兼 営業販売担当(専門職採用) 宮永 辰憲 同 係長

食品加工課 課長 松山 貴史 同部 営業販売 課長
兼 支店長代理

経済部

生産資材課 黒木真由美 総務部 係長
兼 生産生活資材係 兼 庶務担当

施設ハウス加工課 藤崎 康平 同部 施設ハウス加工課
兼 施設ハウス加工工場係(佐土原駐在)

施設ハウス加工課 長嶺 祐 同部 施設ハウス加工課
兼 施設ハウス加工工場係

農自燃料生活担当次長 農機自動車課 課長 兼 組織生活課 課長 兼 固定化債権流動化対策班副班長 兼 内部統制責任者 福島 功治 佐土原支店 共済LA係

兼 内部統制責任者

園芸農産課
園芸指導係

加藤 大貴
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

宮崎宮農センター
園芸指導係

青年部・JA役職員による対話集会

令和元年12月13日、青年部とJA役職員による対話集会が行われました。集会では積極的な意見交換が行われ、多くの質疑応答がなされました。その内容を抜粋してご紹介いたします。

青色申告会の会員を対象に、申告に関する研修会を実施して頂きたい。併せて、就農して間もない新規就農者など、申告の経験が浅い方へは、重点的な圃場巡回等をお願いしたい。

農業経営改善協議会では、毎年何らかの研修会を各支部ごとに開催しており、消費税引き上げに伴う軽減税率制度の研修会を実施した支部もございます。国富支部におきましては、女性パートナー研修会にて家計簿記帳指導及び、経費関連の研修を事務局主催で行いました。また、今回の依頼を受けまして、国富青年部の得農専門部への申告に関する税務研修会も実施しております。国富支部会員は現在389名おられ、全会員を集めての研修会開催は大変難しいものがありますので、ご依頼があれば個別に対応させていただきます。ご要望にもあります、新規会員及び申告経験の浅い会員の方への記帳指導等にも随時対応させていただきますので、どうぞお申し付け下さい。

本店を建設する理由を改めてご説明下さい。また、本店建設予定地については、変更が計画されているようですが、現在の進捗状況とこれまで予定していた用地は今後どのような取り扱いがなされるのかお聞かせ下さい。

本店建設の理由については、現在分散している営農経済部門（コア花ヶ島）と管理金融共済部門（丸島）を、場所的な時間制約や業務の効率性を解決する事と、さらにコア花ヶ島については移転が決定していることに伴い、当組合で営農・経済部事務所を整備しなければなりませんので、同じ場所に集約することで建設を計画して参りました。

建設予定地については、「宮崎西IC周辺農業支援地区計画」として進めて参りましたが、今回計画の取り下げを行ったところであり。現在は、建設予定地北側の法面について、防災上対応として処置をする事を進めております。また、現状ではクリアできない問題もあり、今度宮崎県に提出してきた利用計画との兼ね合い等、調整が必要な課題があるため様々な方面から今後の利用方法を模索しているところでもあります。

中国向けの牛肉の輸出について、JA宮崎中央がどのように考えているのか教えてください。

農協単独では、牛肉製品の取り扱いには行っていません。輸出については経済連、ミヤチクを中心に取り組みます。それについての取組体制はJAグループ一体となった取り組みになってくると考えます。

堆肥を利用する耕種農家が減少しており、畜産農家においては堆肥処理に苦慮している状況にあります。JAとしての対策について教えてください。

県、市町にも畜産農家の堆肥処理状況を毎回説明しており、行政主導型の堆肥処理施設建設を要望致しております。また、耕畜連携事業による水田活用直接支払交付金制度が耕種農家、畜産農家にまだまだ浸透していない状況がありますので、宮崎中央地域農業再生協議会を中心に制度普及に努め、畜産農家の堆肥処理がスムーズにいくよう努めていきます。

近年、胡瓜栽培において黄化えそ病の蔓延が問題視されているが、発生件数や各圃場内での発生規模に地域での大きな差が見られる。産地ごとに条件が異なるのは理解しているが、各地域での意識向上と抑制へ向けた技術提供や取り組みを徹底して指導して頂きたい。（生産者は苗場での感染を疑う声がある様だが発生に地域格差があるのはそれ以外の理由も多いと考えられる）

現在のMYSV発生（11月23日現在：中発44件、前年対比88.0%、小発生211件、前年対比25.4%）は各支店ありますが、MYSV発生状況を見ると差はないと思われます。スリップスの発生状況は、昨年度と比べると11月まで非常に気温が高く続いている事、また定植時期も早くなっていることでMYSVの発生が多くなっている状況です。

MYSV対策については、胡瓜担当者を定期的に行い、各支店統一した防除指導に取り組んでおります。育苗センターでは、スリップス対策として防虫ネット及び粘着シート、苗への粒剤施用と定期的防除の徹底を行っております。

高度環境制御技術（ICT）活用や環境制御機器の普及により、農産物の生産量が増加する中、農繁期等における人手不足が深刻な問題となっている。これらの重要課題を改善する為、県内各産地では「援農隊マッチング支援事業」のサービスが実施されている。JA宮崎中央も関係機関と連携し、生産者への情報提供や斡旋を行えないのか？また、ハウス建設において、新設・更新ともに導入費用が高いので価格抑制を検討して頂きたい。

農業分野におきましても人材不足は深刻な状況となっており、雇用対策については喫緊の課題であると考えております。JA宮崎中央における人材確保対策として、無料職業紹介事業（令和元年9月～）でのマッチング・お試し就業事業（県）を開始しましたが、求職者が少ない状況にある事から、更なる事業の周知による人材確保に取り組みます。また、有料職業紹介所と連携した支援の拡充も検討して参ります。今後は、外国人材の活用や農福連携による人材確保についても行政機関等と連携し検討を行います。

ハウス建設の導入費用については、部材高騰や人件費の引き上げ等により年々上昇傾向にありますが、従来からの複数業者での入札実施等により、価格抑制に努めて参ります。

今後、日本の人口が減少する中、宮崎の農業が生き残る為には海外（東アジア、東南アジア）へ向けての農畜産物の輸出拡大も戦略の一つと考えられるが、将来展望も含めたJA宮崎中央としてのこれからの戦略をお伺いしたい。

人口減少・高齢化による需要減退に対応する販売チャンネルの開拓として、平成25年より東南アジアへ向けた青果物、米、漬物等の輸出を実施し、少しずつではありますが輸出量は増加しております。ただし、国内の市場流通とは異なるため、費用対効果も検証しながら輸出拡大に取り組みたいと考えます。

伝票類のペーパーレス化についてはこの先どうお考えでしょうか。例えば選果伝票など選果が終わると同時にそのデータをCSV形式でスマホやパソコンにメール配信していただくと、エクセルなどで収量集計や秀品率の分析がより早くできて助かります。もちろん紙媒体で買いたい方もいらっしゃると思いますので、選択希望者のみという事になると思いますが、時代の先を見据えれば遅かれ早かれ必要な取り組みかと思えます。最終的には生産者個々のページにログインする形で選果、販売、その他の情報を確認できたり、農業や肥料など資材の注文などが出来るようになるのと大変便利だと思います。人員削減にも繋がると思います。

現在使用している紙媒体の伝票等については、不要なものを整理することによる選果場経費抑制の実現に向け検討しております。選果伝票等のデータ化とWEB配信については、時代の背景からもこれを構築する必要性は理解しておりますが、ご存知のとおりアナログ手法も存続させる必要があることから、上乗せコストが発生することも想定されるため、慎重な検討を行って参ります。

農産物の消費地への輸送ががかりすぎていると思う。いち早く届けられる手段はないのか。また、物流コストが近年上昇する中で、打開策はないのか。

時短輸送については、空輸等を踏まえ様々な手段に対応して参りますが、輸送コストの上昇も懸念されますので、慎重に進めて参ります。物流コストについては今後も上昇が予想されますので、海上及びJRコンテナでの輸送拡大に努め、コスト抑制を行って参ります。

黒木運送撤退はどこまで話が進んでいるのか。また、撤退後の重油配送についてはどのように考えているのか。

令和2年6月30日まで現在の業務を継続致します。撤退後は、JA独自で車両4台を準備し、万全な配送体制を整える計画を致しております。

重油の件で、JA西都がメーカーのデジタル化で試験的にいれておりますが、JA宮崎中央ではそういう取り組みを行っていく計画はありますか。

JA西都が計画している重油残量検知システムについては、重油タンクに燃料圧力計を設置して残量がパソコンや携帯端末等で確認できる仕組みで、JA西都では試験的に200台導入する予定です。JA宮崎中央についても、県単事業の「令和元年度スマート農業による働き方改革産地実証事業」を活用して、同様のシステムを田野地区（七野エリア）の1104基に設置し実証試験を行います。今後については、実証による課題点等を整理し十分検討してまいります。

全国的に青年部盟友の新規加入は減少傾向にあると思うが、例えばJAファーム研修生を就農前に青年部活動（てんばる隊や活性化研修会）に体験入部などしてもらって、就農前に農作業だけではなく地域活動などの重要性を肌で感じてもらう事で、就農と合わせてスムーズな加入促進を図る方策を取って頂きたい。

現在、中央会主催の新規就農意見交換会やJA事業説明会で青年部盟友による活動の紹介や交流会にも参加して頂き、加入促進を図っております。また、高岡地区の溝さらい、草払い等にも参加し地域や人とのつながりについて指導しているところでもあります。今後も研修内容の充実も検討してまいります。ご意見ありがとうございます。



ほっとトピックス



1月11日

空からのお客さまへ 「大根やぐら」PR



組立を行った青年部盟友

1月11日～17日、宮崎ブーゲンビリア空港にてJA管内の干し大根・大根やぐらの知名度向上などを目的に「大根やぐら」が組まれました。主催である日本一干し大根と大根やぐら日本農業遺産推進協議会の会長である栗原俊朗組合長がオープニングセレモニーで挨拶を行いました。



設置はJA宮崎中央青年部の協力のもと行われ、高さ6mのやぐらには900本のレプリカ大根とともに本物の大根が約600本掛けられました。

1月17日

命に感謝を込めて 畜魂祭



国富町田尻畜産センターにて畜魂祭を行いました。生産者やJA役職員、畜産関係団体らが参列し、牛の命に日頃の感謝と鎮魂の意を込め、玉串を奉げました。畜魂祭は毎年開かれ、参列者は今後の畜産事業の発展を祈願し、家畜の霊を供養しました。

1月6日

香港の学生ら 高岡町できんかん視察



2ページでご紹介した矢野さんの育てるきんかんハウスにて



1月5日から8日間、香港大学の学生が宮崎県内にて教育旅行を行いました。日程の2日目には高岡町のきんかん生産者圃場を訪れ、きんかんについての視察学習を行いました。

きんかんの縁起の良い色から人気のある台湾や香港では、JAも協力し、きんかんイベントを開催するなど、宮崎きんかんのPRを行っています。学生らは職員に質問を行ったり、収穫体験を楽しみ味わいました。



1月14日

きんかんとまたま 今年も品質良好！ 一斉解禁!!



完熟きんかん「たまたま」が解禁を迎え、全国の市場で初競りが行われました。宮崎中央卸売市場には県内のきんかんが集まりました。糖度18度以上直径3.2cm以上の「たまたまエクセレント」には高値が付けられました。

今年は天候も良く、立派に育ったきんかんは、今年は台湾や香港など国外への出荷にも力を入れるよう目指します。



葉たばこの豊作を祈願

1月23日

JA宮崎中央管内の育苗センターにて令和2年作の葉たばこ播種式が行われました。ジェイエイファーム田野育苗センターでは田野町たばこ耕作振興会の生産農家や行政も参加し、豊作への願いを込め行いました。今年度のスタートとなる播種式には女性部や青年部も参加し、ハウス内に並べられた育苗箱に丁寧に種をまきました。



恵方巻きでホークス必勝祈願!

1月11日



当たりゲットした方々へ贈呈

餅まき

みやざき中央農産物ファン拡大事業委員会は福岡ソフトバンクホークスが春季キャンプを行う宮崎市生目の杜運動公園にて「節分」イベントを開催しました。宮崎牛や胡瓜を使った恵方巻きをJA宮崎中央の栗原俊朗組合長とホークスの工藤公康監督が必勝祈願を込めて食しました。

また、福を呼び込むため豆まきにちなんだ餅まきも行われ、ホークスの勝利とファンの方々の無病息災を願いました。餅まきの中には当たり券が入っており、宮崎牛、完熟きんかんたまたま、県産米にこまるをプレゼントし、農畜産物のPRも行いました。



今年の意気込みを!



高岡文旦初競り

2月6日

宮崎市中央卸市場にて「高岡文旦」の初競りが行われ、昨年度よりも高値でのスタートとなりました。高岡文旦研究会15名が高岡町のみで栽培している特産品であり、実の薄皮のむきやすさとさわやかな甘みが特徴です。3月中旬頃までに約36tの出荷を予定しています。

同研究会重永幸正副会長は「今年はさらに甘味があり、大玉で良い品物が出来上がりました。たくさんの方に食べて頂きたいです。」と話しました。



重永副会長が競り前に仲買人に挨拶を行いました



のうさぎよう memo



Rice

種播き

【播種量】

- ①播種量は1箱当たり乾粉で140〜150g(催芽粉で約170g)。
- ②機械播きの場合には種粉の水分状態で播種量が変わるので必ずチェックしましょう。

【かん水】

- ①かん水量は1箱当たり1リットル程度。
- ②過度のかん水や、かん水ムラは出芽ムラの原因になります。

【苗立枯病の防除】

- ①高温条件や低温条件で各種の病原菌による苗立枯病が発生するので注意が必要です。
- ②発生してからの防除は十分でない場合が多いので予防対策を万全にしましょう。

※リソープス対策(クモの巣状の白いカビ)：播種前にかん水を兼ねて床土の入った育苗箱にタコニール1000の1000〜2000倍液を1箱当たり1リットルかん水します。

【覆土】

- ①播き終わったら種もみが隠れる程度に覆土します。

育苗管理

【出芽期間の管理】

- ①温度管理は30〜32℃とし、32℃を超えたりゾープス菌が発生するおそれがあるので、日中の高温に注意し、夜間の保温に心がけます。
- ②積み重ねの出芽の場合は、出芽期間3〜4日を目安にします。積み重ねの段数は10段階程度までとし、上下による出芽の差が大きい場合は途中で入れ替えて下さい。
- ③平置き出芽の場合は、温度の確保が難しく出芽期間が長くなりやすいため暖房対策が必要です。
- ④出芽長が1cm程度になったら緑化に移します。出芽長が伸びすぎると葉令の進みが遅れるので注意しましょう。

【緑化期間の管理】

- ①温度は夜間15℃、昼間26℃で管理を行います。
- ②緑化に移る際は育苗箱の移動は日照の強い日中や低温の朝夕は避けましょう。
- ③緑化期間中は葉先に水玉がある状態であればかん水の必要はありません。

- ④本葉1枚目が展開し、第2葉が出始めたらラップシート等の被覆資材を除去します。

※シントウム・フザリウム対策(種粉に赤・灰色のカビが付着して、円状に茶色く枯れる症状)：緑化開始時にタチガレン液剤かタチガレエースM液剤の500〜1000倍液を1箱当たり0.5リットルかん水します。

【硬化期間の管理】

- ①前半は夜温10℃、昼温20℃で管理し、日中は換気にかかげましょう。移植の7日前からはハウスのサイドを解放し徐々に外気にあて慣らしましょう。
- ②かん水は気温が上昇し始める午前中に行います。夕方のかん水はハウス内の湿度を高めて徒長しやすくなります。
- ③5℃以下の低温や過湿は苗立枯病が発生しやすくなるので注意しましょう。苗立枯病の症状が見受けられたら、すみやかに薬剤のかん水を行います。
- ④田植え作業が遅れる場合は、苗の老化を防ぐために追肥を行い、風通しの良い場所に置き、かん水は控えめにしましょう。

育苗のポイント

「前半はかん水を控えるにして、後半は午前中に1回かん水をしなす」

田植え

株間30cm×条間13〜14cm植えて、坪当たり80株を確保しましょう。最近では坪当たり約60〜70株での田植えが多く見受けられますが、早期水稲では移植後に寒さがきて被害を受けることがあります。移植後に寒さがきて生育が遅れても分げつが確保できるよう坪当たり80株で移植しましょう。

また深植えでは発根が遅れる為、活着や分げつ始期が遅れます。適した植え込みの深さ2〜3cmを心がけましょう。

【植付深度と水深と活着】

※移植4日目の1本あたりの発根数。

水深	浅植え	深植え
水深1cm	4.4本	3.2本
水深5cm	4.5本	2.6本
水深10cm	2.6本	2.4本

朝早く田んぼの水温が低いまま田植えをする、それだけで稲が傷むこともあります。週間天気予報を見ながら寒い日は田植えを避け、なるべく太陽がのぼって水温が上がってから田植えを行ってください。必ず田植え時には水温を確かめましょう。

病害虫防除

移植前に葉いもち・イネミスズムシ対策として、パイゲットフェルテラ粒剤等を育苗に施用し、病害虫被害の初期予防対策を実施しましょう。つげ苗はいもち病の発生原因になりますので早めに取り除いて下さい。

除草剤

除草剤も水稲の安定生産に極めて重要です。除草剤は使い方によってその効果に大きな差があり薬害も出やすくなりますので、次のことに注意して下さい。

- ①雑草の種類に応じた除草剤を選ぶ。
- ②初期一発剤は雑草が生える前に散布するのが効果的です。
- ③使用時期・使用量を正しく守る。
- ④使用後は湛水状態を保つ。

※バック剤を使われる方は、バック剤が固まっていないうちに確かめて下さい。固まった状態で使用すると拡散しにくくなりますので、バック剤を手で揉みほぐし平らにして使ってください。また、発生前に使用すれば薬類にも効果があるものもありますので、使用時期を遵守し薬類の発生前にご使用下さい。



温州みかん

Fruit

剪定

◆剪定の要領
剪定は3月上旬頃には終わるように計画的に行いましょう。

剪定は、枝の分岐部から除去する間引き剪定を基本とします。枝の途中で除去する切り返しは行わないようにしましょう。

若木…支柱等を用いて樹形を整え、間引き程度成木…剪定は、間引き主体で亜主枝上の立ち枝や内向枝等の不要枝を取り除く程度に行いましょう。

高接ぎ…高接ぎ樹は上部の枝の生育が旺盛になり、下部の枝が日照不足になりやすいため誘引等で亜主枝を横に伸ばし日当たりを確保しましょう。

※樹勢の低下している園では間引きは行わず、夏秋梢の除去のみにとどめましょう。

整枝・剪定

- ◆理想樹形：①日当たりが良い②2〜3本の主枝がある③亜主枝上の立ち枝が少ない
- ◆剪定の手順(※間引きを主体に行い、日南一号は枝の切り返しは行いません。)

- ①主枝の確認(2〜3本)
高くなりすぎた主枝は、作業のしやすい適当な高さの分岐点で剪定しましょう。

- ②亜主枝の確認(第1亜主枝、第2亜主枝等)
亜主枝上の日当たりを悪くしている立ち枝(かぶり枝)を元から除去し、込んでいる部分の間引きを行います。

同時に、枝先下方から出ている地面に付きそつな枝も除去しましょう。

- ③内向枝、逆行枝、平行枝、ふところ枝の除去
※整枝の不十分な樹では1年で理想樹形に近づけず、3〜4年かけて徐々に太枝を整理します。

※剪定後の大きな切り口には、癒合剤を塗布してからアルミホイルなどを被せ、切り口の治りを早めましょう。

園地環境整備

みかんの樹は、冬の低温にあつと生長を停止しますので、生長停止している間に園地内整備排水溝整備、防風垣整備を行います。

- (1)排水溝整備
排水溝整備を行い園外へ雨水を出せるようにしておくと品質向上のための水分コントロールがしやすくなります。
- (2)防風垣整備
防風垣は完全に密閉すると冷気が停滞しやすくなるので、ある程度風通しを良くします。アヌマキ等は、アザミウマの発生源にもなるので注意しましょう。

防風垣手入れの基本は、地面からの高さ1メートル以下までの枝は除去して、反対側が見えるくらい枝を落としましょう。

病害虫防除

【必須防除】

散布時期	対象病害虫	農薬・資材名	倍数
3月上旬(発芽前散布)	Zホルダー(発芽後ハイカルテ)	1000倍加用	5000倍
3月下旬	そつなか病	デミフロンアル	10000倍

【確保防除】

※樹勢低下等で冬期のハーベストオイル散布が実施できなかった園ではきちんと散布しましょう。

散布時期	対象病害虫	農薬・資材名	倍数
3月(ミカンハダニ)	上旬(発芽前散布)	ハーベストオイル	80倍

※カイガラムシが多発する園地は、スプレーサイド乳剤40を1500倍で混用しましょう。

畜産 臨時職員募集

職 種	肉用牛の飼養管理全般
必要な資格	普通自動車免許
応募資格	元気な男性・女性
募集人数	若干名
勤 務 地	J A 宮崎中央管内牧場（宮崎市高岡町、大瀬町、国富町）
勤務時間	午前8時～午後5時
給与・待遇	J A 宮崎中央臨時雇用者就業規則・福利厚生規則によります
採用決定	面接実施の上、採用決定いたします（面接は随時実施）
応募方法	履歴書を下記住所まで提出してください

提出・問合せ先

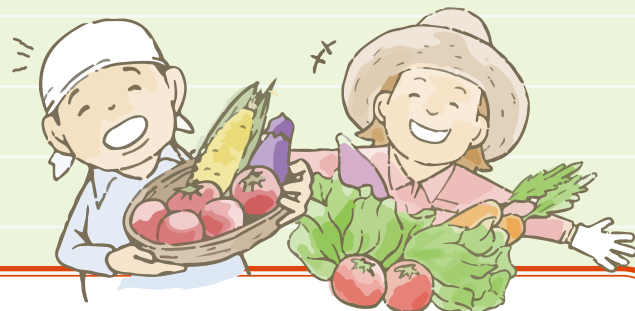
〒 880-2101 宮崎市大字跡江字土手外 198 番地
 J A 宮崎中央 畜産部
 ☎ 0985-47-3730 (担当・今井)

※詳しくは J A 果樹指導員にお問合せ下さい。

葉面散布の実施
 発芽前（3月上旬）から生理落果期終了（6月中旬頃）までに窒素主体の葉面散布を7～10日おきに3回以上行い、芽の緑化、花（子房）の充実を促進しましょう。
 肥料名 バワフルグリーン2号 8000倍

春肥の施用
 日南1号着色出荷型・日南1号連年環状剥皮の2年目以降
 (1) 時期：3月上旬
 (2) 肥料名、施用量：宮崎みかん有機2号または、かんきつ肥料を40kg/10a
 ※日南1号の早期出荷型では施用しません

※ハーベストオイルは開花前に散布しましょう。
 ※ハーベストオイルは樹勢によって倍数が異なるため、指導員にご相談下さい。



新規就農研修生の募集要領

1. 研修事業の目的

将来、農業で自立を目指す農業後継者や新規就農者等を受け入れて、農業技術や経営手法等についての研修を実施し、農業の担い手を育成する。

2. 募集要領

J A 宮崎中央では、以下の要領で研修生を募集する。

研修条件

- ・ 農業に対する強い意志と意欲がある農業後継者や新規就農希望者で、研修終了後も引き続き市・町内に居住し、就農できる者
- ・ 研修後は、生産部会に加入し、JA 事業活用に理解のある者
- ・ 外国人希望者においては、日本語能力試験N5級相当の能力を有しており、研修に支障がないと判断した者に限る。

年 齢

18歳以上概ね50歳まで

研修期間

原則として1年間。（但し、事業主体が認めた場合は1年延長可）8月1日から翌年7月31日を研修期間とします。

研修方法

J A で定めるカリキュラムに基づき研修する。（2年目については自己管理研修とする）

研修作物

J A の重点作物の中から選定（きゅうり・ミニトマト等）

募集人員

希望者数及び受け入れ体制により決定（10名程度）

募集期間

令和2年2月3日より4月30日まで（30日必着）

研修助成金

国による助成金制度あり
 【農業次世代人材投資事業（準備型）…150万円/年】
 （上記要件を満たさない場合は、J A ・市町の助成金…120万円/年）

各種資格取得

研修期間中に必要な資格等の取得

就農支援

就農への必要な支援（ハウス、農地、補助事業、資金対応、技術・経営指導、販売、その他）

3. 研修生の決定

入所を希望される方は、書類審査、面接審査に合格した者を研修生として決定する。

※研修を希望される方は農業研修申込書に必要事項を記入の上、下記へ郵送若しくは J A 宮崎中央各支店より送付下さい。詳しくは下記へお問い合わせ下さい。

〒880-0036 宮崎市花ヶ島町鴨の丸829-1
 J A 宮崎中央 営農部営農企画課 新規就農者係
 ☎0985-31-0519

『「県域JA」構想 組合員代表者との意見交換会』のご報告

1. 組合員代表者との意見交換会の開催の趣旨

「県域JA」構想は、中長期的な視点で、JAの使命・役割である「農業所得の向上」と「地域の活性化」に向けて、JAグループ宮崎の総合力を最大限に発揮するため、平成30年11月に検討に着手することとされ、現在、協議を進めております。

令和元年10月30・31日の「組合員代表者との意見交換会」は、「県域JA構想案」検討の途中において、組合員代表の皆様方のご意見を伺い、今後の検討に反映させていくために開催いたしました。

今回のご報告は、アンケート結果と席上いただきましたご意見等及び県域JA構想案（中間とりまとめ）の主な内容を中心にまとめたものです。

2. 中間取りまとめ案に関するアンケート結果

参加者：13JAの総代・部会・組織代表等約240人

回答者：166人 回答率：約69%

《中間取りまとめ案の検討内容への評価》

十分である	おおむね十分	やや不十分	不十分である	わからない
10%	39%	22%	18%	11%
49%		40%		

3. 意見交換会質疑応答（抜粋）

検討期間・合併時期について

Q：県域JA構想は十分に時間を掛けて議論すべきだ。急ぎすぎではないか？

A：時期が早いか遅いかはそれぞれ意見があります。スケールメリットが発揮できるステージⅢに移行するまでに9～10年掛かることになり、それでは遅いという意見もあります。各JAの合併総代会で決議いただきますが、その前にはできるだけ具体的なメリットをお示しします。

Q：合併しなくても、現在の体制で出来るのではないか？

A：各JA・連合会で重複している機能を削除し、必要な機能は残すことで効率化を図ります。

Q：設立推進協議会への参加の承認について、スケジュールを変更することはあるのか？

A：設立推進協議会というのは、合併を「する」「しない」という判断ではなくて、検討状況を網羅したものを更に突き詰めていく協議会です。その協議会の設立に向けての承認であり、最終の意思判断は3～4年後になりますので、ご理解下さい。

要望等

- 合意形成までの期間が急ぎすぎである。
- 合併時期については危機感で違いが生じている。
- 他県に先んじて早く合併して、早くメリットを発揮してもらいたい。
- 大型化しないと全ての経済界の中で生き残ることはできない。10年先では、合併がさらに15年、20年掛かる。悠長なことは言っていられない。
- まずは設立推進協議会を設立して細部を詰めていかないと、組合員にメリットやデメリットを説明できないので、このスケジュールが良い。

合併について

Q：連合会も合併するのか？

A：法律上、まず13JAが合併し、そのあとに連合会を包括承継する形で合併します。

Q：合併したいJAだけで合併すれば良いのではないのか？

A：宮崎県の13JAは黒字であり、ここ数年は大丈夫だと考えています。ただ、10年、20年経った時にどうなるのかをシミュレーションしながら、未合併ではできない、県域JAで何が出来るかを踏まえたものを提示して判断することが大事だと考えております。

Q：合併して赤字になった場合、信用事業譲渡になるのではないのか。

A：赤字は信用事業譲渡の一つの要素にはなりえますが、その要素だけで譲渡となるわけではありません。

Q：一定の財務基準の目標を設定しているが達成できるのか？

A：ステージⅠの中で各JAの財務状況を一定レベルに合わせることでありますが、各JAそれぞれに素晴らしい特色があり、数字では表せない部分もあります。どの部分を高めていくのか検討しています。

Q：財務調整はどうするのか？

A：各JAにそれぞれ特徴があります。いくつかの指標を最終的にどこまで調整するか今後、検討します。

Q：出資配当や独自の支援対策等はどうなるのか？

A：手数料に織り込んだり、対策費として支出したりJAで違ってまいります。それらを活かしながら運営するためにはどうすればよいか、今後、現状を踏まえ具体的に検討していきます。

要望等

- 総代会で合意があれば合併して良い。
- 13JAが外部のコンサルタントを入れて、5年先、10年先に個々のJAがどうなるか確認して、組合員に判断させてはどうか。
- 合併前に各JAでの自己改革が必要である。
- 支所支店の統廃合によって組合員に迷惑をかけるのではないか。
- 合併した時に行政とのつながりをどうするか検討してほしい。

県域JAのメリット・デメリットについて

Q：県域JAになるメリットは何か？スケールメリットについて具体的に示していただきたい。

A：これまでJAグループは時代とともに機能を統合してきましたが、現在の状況から県域JAになったときのことを検討している段階であります。スケールメリットについては更に検討して組合員の皆様に説明していきます。

Q：新たな投資とあるが具体例はあるか？

A：具体例はありませんが、これまで単協では不可能であった施設等の投資が可能となります。

Q：組織が大規模化することで組合員との距離が離れるのではないか？

A：組織が大きくなることのデメリット対策や地域性の維持方策等について優先して協議し取り組みます。

Q：地域ブランドがなくなるのではないか？

A：地域ブランドの特性・品質・取扱量等を踏まえ、所得向上や有利販売を前提に組合員の皆様の意向に基づいて一つひとつ検討していきます。

要望等

- 県域JAになることで、交渉力を発揮することができる体制にしてほしい。

役員体制について

Q：理事について、青年部枠は何枠ぐらい考えているのか？

A：青年部枠を設ける方向ではありますが、人数については今後の検討となります。

Q：理事の定数について、組合員数で割るのはおかしいのではないか？

A：正組合員割や事業割等を踏まえて検討しているところであります。

要望等

- 役員が多いと逆に意見が届きにくくなるので、地区本部運営委員の定数は今の半数でよい。

県域JAに求めること

Q：買取販売ができる体制づくりをして、農家が安心して生産に取り組めるようにお願いしたい。

A：現在は委託販売が主ですが、少しずつ買取販売にも取り組んでいますので、今後はその割合も上げていきます。

Q：若い営農指導員が多くなっているため、指導員の質の向上を図られるようにお願いしたい。

A：県域化となることで県域JAとしての指導員のレベルを上げていきます。

Q：ノルマによる職員の退職について考えてほしい。農家所得が上がれば推進は必要なくなる。

A：農家の所得向上があつてそれぞれの事業が成り立つということを基本に置いて、JAのあるべき姿を検討していきます。

要望等

- 農業所得を上げるために英知を結集して、未来志向の合併をお願いする。
- 農業後継者育成と耕作放棄地の対策を講じ、若い人が農業を目指しやすいJAになってもらいたい。

その他

Q：9～10年先を見越したことから、青年部や後継者など若い人の意見を聞いてほしい。

A：将来の宮崎の農業をどうするのか、青年部等の意見を集約しながら取り組んでいきます。

Q：他県の合併したJAの実態について、調査してほしい。

A：他県の事例につきましては、メリット・デメリット、今の状況を含めてさらに調査します。

4. 意見要望への今後の取組み

① 検討期間について

組合員代表者との意見交換会を受けて、令和2年としていた各JAの理事会での「設立推進協議会への参加」承認については、令和4年を目途として進めることとしました。

② 組合員への十分な説明について

今後も県域JAについての十分な議論を重ねて参ります。組合員との意見交換については、幅広い周知や意見反映のために随時開催します。また、組合員向けの広報資材を作成して配布します。次回は、令和2年1月までの検討内容について『県域JA構想(草案)』としてまとめ、その概要版を配布します。

③ 農業の振興について

県域JAにおける宮崎県の農業振興の取組みについて、さらに協議を深めて参ります。

④ 合併の具体的なメリットについて

令和2年より、県域JAになることでの「事業ごとでの県域JAならではの取組み、それによる組合員メリットの具体化」について更なる協議を深めます。併せて数値的な影響試算についても整理を進めます。

5. 《参考》当日資料の主な内容

組合員説明資料抜粋

※決定事項では、ありません

《現在の検討内容での施策と組合員メリット（営農面の抜粋）》

	施策等	組合員メリット
生産基盤	県域を1つの産地(JA)と捉えた基盤構築を目指し、県域での営農振興方針の策定や素畜生産から販売のあり方、事業のインテグレーション化の検討。	・規模拡大、作業の効率化 ・産地の維持・発展
営農指導	県域で高いレベルの指導やサービスを提供する体制(組織)づくりを目指し、県域指導体制づくりや営農指導員体制の整備や効率的な配置。	・営農指導のレベル向上と充実 ・県域体制での営農指導の享受 ・生産性の向上
資材調達	経営効率化を踏まえた店舗や拠点の集約、トータルコスト低減のための品目集約などを目指し、出向く・出迎える体制の強化や仕入れや仕組みの見直し。	・サービスの充実、利便性向上 ・生産コスト上昇の抑制
物流	県域での物流効率化、施設の集約・整備による新たな物流体制の構築を目指し、青果物物流拠点の設置や品目別選果場の設置、出荷と連動した物流スタイルの構築。	・物流・選果・保管コストの抑制 ・配送体制の持続
販売	県域を1つの産地(JA)と捉えた販売体制構築を目指し、県域営農振興に基づいた県域ブランド戦略の充実化。	・所得や経営の安定化 ・ブランド力の向上
農業資金調達	①専門・相談機能を拠点化し、専門性の高いサービスの提供を目指すとともに、多様なニーズを踏まえた幅広い農業金融サービスを提供。 ②出向く体制の拡充等、組合員・利用者目線に立ったサービスを提供。	・相談対応のレベル向上 ・担当専門職員による継続的な情報提供

《主なスケジュール》（「県域JAの設立」をJA県大会後5年以内とした場合）

※スケジュールはあくまで目途であり、議論の進展に応じて、組織整備委員会などの会議体で随時検討します。

平成30年11月(起点)	第24回JA宮崎県大会	「県域JA」構想(成案)の具体的検討着手の決議
令和元年10月	組合員代表者との意見交換	「成案」(中間取りまとめ)の報告
令和2年	組合員との意見交換	「成案」の説明・意見集約
	各JA理事会	「県域JA構想(設立推進協議会)への参加」の承認
令和3年2月	「県域JA設立推進協議会」の設置	全JA・連合会から1名以上の出向 (「成案」に基づく、より具体的な内容を検討・整理)
	組合員との意見交換	合併経営計画・合併契約書などの説明・協議
	各JA理事会・臨時総代会	合併経営計画・合併契約書などの承認
起点より5~6年目	県域JA設立	現JAを地区本部とする体制で運営・連合会の包括承継

※4. ①「検討期間について」のとおり見直しをしています。

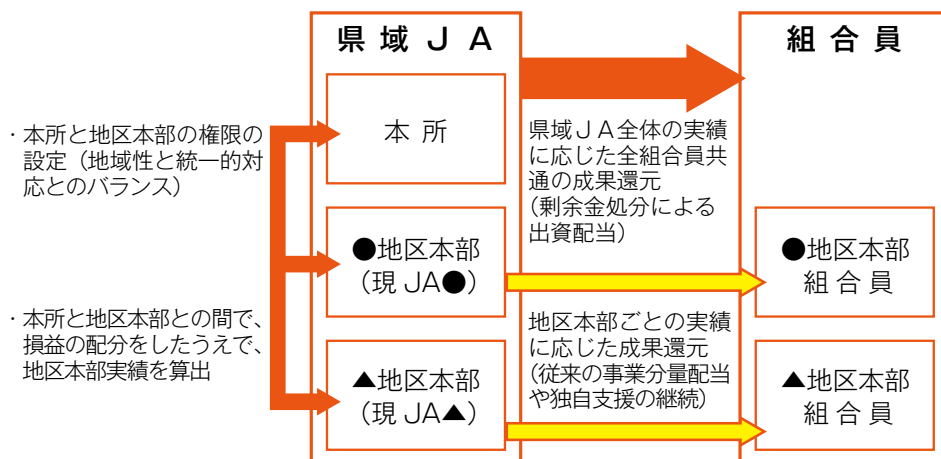
＜財務面の取組み＞

合併前までの期間においては、県域JAの経営・財務基盤の高位平準化のため、これまでの各JAそれぞれによる経営健全の取組みに加えて、合併前に、一定の統一基準に基づく経営・財務基盤強化に取り組む必要があります。そこで、現在、この合併前の取組みについて検討しております。

＜合併当初の組織体制＞

合併当初の組織機構として、現JAを地区本部とする「本所－地区本部」制とすることで検討しております。地区本部は、一定の権限を持ったうえで独立採算的運営を実施し、地区本部ごとの業績に応じて、組合員への成果還元を行います。なお、一定期間経過後は地区本部を廃止し、県内を3～5のエリアに区分し、各エリアに広域統括拠点を設置することを検討しています。

【地区本部の権限と独立採算の考え方】



＜総代会と地区本部総代協議会＞

県域での総代会に加え、地区本部ごとに地区本部総代協議会（仮称）を設置することで、広域化するJAの組合員の意見を反映します。（検討中の内容）

	総代会（県域）	地区本部総代協議会
設置	県域で1つ	地区本部ごと
構成員	総代（県域） ※地区本部総代の代表	地区本部総代
人数	500名～1,000名で検討中	現総代の半数～現定数で検討中
機能	県域JAの最高意思決定	地区本部の運営に関する協議

＜理事会と地区本部運営委員会＞

県域での理事会に加え、地区本部ごとに地区本部運営委員会（仮称）を設置することで、広域化するJAの組合員の意見を反映します。（検討中の内容）

	理事会（県域）	地区本部運営委員会
設置	県域で1つ	地区本部ごと
構成員	理事（県域組織代表理事として、青年部・女性部代表枠を設置）・監事	運営委員（当該地区選出理事含む）・監事（当該地区選出）
人数	理事60名～80名・監事15名程度	現JA理事数程度
機能	県域JAの業務執行に関する決定	地区本部の業務執行に関する協議

＜人事面の取組み＞

コース別での人事異動による専門性の向上や、県域一括採用による優秀な人材の安定的な確保により、持続的なサービスの向上を図ります。

JA宮崎中央は、今後も組合員のみならずと十分な意見交換を行いながら、慎重に検討を行ってまいります。



畜産部だより



1月期

品評会

令和2年1月16日

【出場頭数】 雌子牛の部36頭 去勢子牛の部3頭



去勢の部 船ヶ山康弘さん [田野]

「船久耕」号 (H31.5.29) 父「耕富士」、母の父「安福久」、母の祖父「忠富士」、母の母の祖父「安平」



雌の部 長友 志朗さん [南宮崎]

「さち6」号 (H31.5.20) 父「耕富士」、母の父「美穂国」、母の祖父「北国7の8」、母の母の祖父「隆桜」

成績 (敬称略、かつこ内は支店名)

【去勢の部】

2席 長友 孝光 (宮崎)

【雌牛の部】

2席 源 和弘 (宮崎)
3席 齊藤 次男 (佐土原)
4席 江藤 優作 (宮崎)

5席 長友 孝光 (宮崎)
6席 黒木 博仁 (南宮崎)
7席 森 光春 (佐土原)
8席 井上 源吉 (南宮崎)

9席 中原 親一 (高岡)
10席 内八重 洋 (田野)
11席 甲斐 芳彦 (佐土原)

令和2年

1月10日

初セリ市開催

1月期 セリ市

令和2年1月10日~11日



新年初となるセリを祝って鏡開きも行われました。



地区	性別	頭数	最高	最低	平均価格	kg単価
宮崎	雌	43	997,700	502,700	722,418	2,705
	去勢	41	1,006,500	601,700	825,778	2,873
南宮崎	雌	51	1,035,100	489,500	730,917	2,723
	去勢	65	1,191,300	616,000	806,503	2,798
田野	雌	35	1,246,300	470,800	720,688	2,733
	去勢	36	1,098,900	662,200	805,963	2,792
佐土原	雌	26	1,015,300	539,000	770,507	2,818
	去勢	53	1,202,300	621,500	845,775	2,812
高岡	雌	26	1,104,400	534,600	760,523	2,786
	去勢	40	1,064,800	573,100	820,985	2,872
国富	雌	82	942,700	452,100	710,667	2,698
	去勢	90	1,065,900	112,200	782,552	2,746
合計	雌	263	1,246,300	452,100	728,693	2,730
	去勢	325	1,202,300	112,200	810,429	2,804
	総体	588	1,246,300	112,200	773,870	2,771

頭の体操

ヒント 早春に香りの良い花を咲かせます

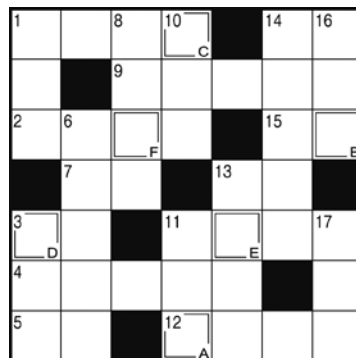
二重マスの文字をA~Fの順に並べて
できる言葉は何でしょうか？

クテのカギ

- 成長すると鶏になります
- 太陽が東から昇る時分
- 車の方向指示器のこと
- 事故などを現場に居合わせて直接見ること
- 工業——。——社会。——政党
- 地震、雷、火事、——
- 真ちゅうやステンレス、はんだなどのこと
- 雑巾を用意して年度末の——をした
- 版面を刷るときに使います
- 旧暦3月の異称です

クコのカギ

- ひな人形に供える角張った食べ物
- 守備の反対語
- サンとゴの間
- 兵庫県の郷土料理。地元では卵焼きとも呼ばれます
- A、B、C……と数えて11番目
- 走ると切れることも
- 京の着倒れ、大阪の——
- 白井義男は日本人初のボクシング世界——です
- 骨と骨とをつなぎます
- 白米を量るときに使う単位の一つ
- 父や母の姉妹です
- して得取れ



のんき家族

しオナルド★いも



5名様様にプレゼント 完熟マンゴー

※出荷状況に応じての発送となります(5月中)

応募方法・締切

下記の要領で**3月23日(月)**
(当日消印有効)までにお送りください。
当選者発表は5月号です。

※ご応募に際して取得した個人情報は、このたびのプレゼントの抽選・発送以外には一切使用しません。また承諾なく第三者に提供しません。但し、コメントに関しては「WELCOME JA」に掲載させていただく場合がありますので、ご了承下さい。

63 〒880-0813

めぐみ3月号係
JA宮崎中央
宮崎市丸島町1番17号

- クイズの答え
○○○○○
- 〒・住所・氏名(匿名の場合はペンネームも)・年齢・電話番号
- JAだより「めぐみ」やJA、農業に対するメッセージ、日常のこぼれ話、イラストなど(必ず書いてください!)

1月号の答え「エキデン」

※当選者の発表は誌面にて行います。なお公正を期するため本名での発表とさせていただきますので、ご応募の際は了解下さい。



1月号のプレゼント 高岡文旦

市原 好子さん
岩城 稔さん
蛸原 博さん
片岡 知子さん
串間 道代さん

佐賀百合子さん
佐藤奈津子さん
谷口 佳代さん
中村 恭子さん
本田すず子さん

おめでとうございます。今月の応募は62通でした。

お便りはこちら

あなたのお便り、情報をお待ちしています。私たちの地域でこんなことがある、こんな珍しい作物がとれた!また、「めぐみ」で取りあげてほしいコーナーなど、ご意見・ご要望等も、どしどしお寄せください。お待ちしております!

〒880-0813 宮崎市丸島町1番17号 JA宮崎中央 本店
JAだより「めぐみ」係
TEL.20-1001 FAX.20-1436

投稿に際して取得した
個人情報は、承諾なく第三者に
提供しません。

定例理事会

令和2年1月27日(月) AZM別館202研修室

- 1 令和2年度事業計画(手数料率を含む)について
- 2 令和2年度内部監査計画について
- 3 米穀共同計算結果報告及び最終精算の実施について
- 4 職制規程(業務分掌表・職務権限表)の変更について
- 5 事業資金(外国人実習生宿泊費)の貸付について
- 6 令和2年度信用の供与等の最高限度額及び貸付金利率の最高限度について
- 7 令和2年度余裕金運用について
- 8 令和2年度借入金の最高限度について
- 9 退職給与規程の一部変更について
- 10 非常勤役員の年間日当支出額について
- 11 経営改革に係る説明会資料について

以上11議案が、可決・決定及び承認されました。

人事異動 (かっこ内は旧部署)

【人事異動】

令和2年1月26日付

千崎 優子 大淀支店 金融課 貯金を替係(育児休業)

【退職】

令和2年1月27日付

工藤 敦 畜産部 生産指導課

ローンプラザ営業終了のお知らせ

日頃のご愛顧、誠にありがとうございます。

ローンプラザの営業につきましては、令和2年1月31日をもって終了いたしました。

各種ローンのご相談は、引き続き各支店の融資窓口にて対応させていただきます。

今後とも何卒よろしくお願いたします。

宮崎支店	24-4774	大淀支店	51-2828
生目支店	48-1131	住吉支店	39-1011
南宮崎支店	85-6033	赤江支店	51-5401
木花支店	58-1212	田野支店	86-1236
佐土原支店	73-2995	高岡支店	82-2114
国富支店	75-5197		

交通事故はJA共済(交通事故処理センター)

8:30~17:00まで(平日) ☎35-3507

宮崎県夜間・休日事故受付センター

平日/17:00~
土日・祝・祭日/ ☎0120-258931

カード紛失時連絡先



キャッシュカードの紛失	17:00~翌8:00(平日) 8:00~翌8:00(土・日・祝)	☎0120-646-106	※上記時間以外はお取引店舗までご連絡ください
JAカードの紛失	24時間受付・年中無休	☎0120-159674	

もしものときはお電話を

プリエール宮崎

☎0120-930-170

(24時間・年中無休)

清武ホール 花ヶ島の杜 佐土原の杜 田野ホール

もしものときの大きな安心

ご葬儀の事前相談

随時
受付中



事前相談とは、もしもの時に慌てることがないように、あらかじめ葬儀についての情報を集め、費用や場所、会葬数などを相談して頂き、ご葬儀の「かたち」を決めておくことです。

ご相談にお越し
頂いたお客様へ

記念品を進呈いたします
お気軽にご相談ください

宮崎の農産物をお届け！ 宮崎てげうま産直便

農畜産品を生産者や生産地の情報に合わせてダイレクトにお届けします。

JA宮崎中央

みやざき中央農産物ファン拡大事業委員会

URL: <http://shop.ja-direct.net/>



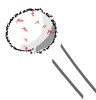
わちどんが村 式部の里 { 各種イベント情報などをお届け!! }

わちどんが村 式部の里
LINE@はじめました!

QRコードから
友だち登録!!



編集後記



野球キャンプには選手だけでなく、県内外から多くのファンの方々が訪れていました。イベントを通してJA宮崎中央の農畜産物の美味しさをPRできたのではないのでしょうか!

人事異動を掲載しましたが、

私は異動もなく、3年目となります。

また1年「めぐみ」作成など様々な広報活動を頑張ります!

もっといろんな「はぴす」のイラストが描けるようになることも

今年の目標です! よろしくお願します。(林)



令和3年度 JA宮崎中央の職員(大学卒・短大卒)を募集します

受験資格

<大学卒>
平成4年4月2日から平成11年4月1日までに
生まれた方で、大学院・四年制大学を卒業または
令和3年3月卒業見込みの方

<短大卒>
平成9年4月2日から平成13年4月1日までに
生まれた方で、短期大学を卒業または令和3年
3月卒業見込みの方

応募方法

<大卒・短大卒とも>
●本店または統括支店に試験案内を取りに来て
下さい。試験案内は、JA宮崎中央のホーム
ページにも掲載しています
●申込受付は3月9日(月)～4月10日(金)必着です

1次試験

<大卒・短大卒とも>
と き：令和2年4月18日(土)
ところ：JA・AZM本館2階大研修室
科 目：①筆記試験
一般常識[国語、数学(数理・論理合)、
英語、理科、社会]・作文
②適性検査
③面接試験

2次試験

<大卒・短大卒とも>
面接試験(1次試験合格者のみ後日実施)

必要書類

<大卒・短大卒とも>
●試験案内またはホームページにて詳細を確認
して下さい
●履歴書(JIS規格もしくは大学指定のもの)
●卒業証明書または卒業見込証明書
●成績証明書
●63円切手(受験票送付用)
●返信用封筒(可否の通知用として使用、84円切
手貼付、返信先明記)

※受験票は4月10日(金)(予定)までに本人宛に送付します
※郵送の場合は郵便窓口で「特定記録」にしてください
※封筒の裏には受験者の氏名、住所を必ず記載してください
※1次試験の結果は5月上旬(予定)に本人宛に通知します
※提出頂きました応募書類は返却致しません

<申込先およびお問合せ先>

〒880-0813 宮崎市丸島町1番17号
JA宮崎中央 総務部 人事教育課 松田・田中
☎0985 (20) 1001
ホームページにも詳細を載せています <http://chuou.ja-miyazaki.jp>

今年の七月、東京で、
オリンピックが開幕します、
選手は勿論、
各国からの応援団、
観光客や取材陣、
世界の国からやって来て、
日本国中、
客人たちであふれます、
オリンピックは、
華麗な演技、
力と力、技と技、
そればかりでは、
ありません、
国と国、
人と人との交流が、
世界の平和を呼ぶんです、
ようこそ日本へ、
いらっしやいませ、和の国へ、
そそうのないよう、
心のこもった、おもてなし。



小中門々

絵と文 山本俊六郎

